

《部会参加費・懇親会費等について》

- I 大会参加費 2,000 円
- II 懇親会費（事前振込） 4,000 円
（当日支払） 5,000 円

ご参加の方は、同封の郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、5月10日（金）までにお振り込みください。お振込みをもちまして、参加の申込みとさせていただきます。念のため、当日は「郵便振替払込受領書」またはその写しをご持参ください。

なお、振り込まれました大会参加費等については、不参加の場合でも、返金に応じかねますので、あらかじめご了承ください。

また、ご参加の際に名札用として名刺を1枚お持ちいただきますようお願いいたします。

《交通アクセス》

最寄駅・市営地下鉄「学園都市駅」までのご案内

- 山陽新幹線「新神戸駅」から市営地下鉄で約25分
- JR・阪神・阪急「三宮駅」から市営地下鉄で約22分
- JR「舞子駅」・山陽電鉄「舞子公園駅」から市バス・山陽バス53・54系統で約30分

市営地下鉄「学園都市駅」から本学までのご案内

- 市営地下鉄「学園都市駅」西出口より南へ徒歩約10分

なお、お車でのご来場はご遠慮ください。

神戸商科キャンパスへのアクセス



キャンパスマップ



日本簿記学会

第35回関西西部会

統一論題

「近代化と西洋式簿記の伝播」

2019年5月25日（土）

兵庫県立大学神戸商科キャンパス

日本簿記学会第35回関西西部会準備委員会
〒651-2197 神戸市西区学園西町8-2-1
兵庫県立大学・兵頭 和花子研究室

E-mail: hyodo@biz.u-hyogo.ac.jp

ご挨拶

拝啓

早春の候、会員の皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、来る2019年5月25日（土）に兵庫県立大学神戸商科キャンパスにおきまして、日本簿記学会第35回関西部会を開催させていただきます。

今回、統一論題のテーマとして「近代化と西洋式簿記の伝播」を設定いたしました。

江戸期における簿記が明治期を経てどのように展開してきたのか、西洋式簿記の導入の前後において日本の簿記にどのような影響があったのかという点につきまして、会員の皆様方と活発な議論ができればと考えております。

また、自由論題報告の会場を設けました。興味深い内容の報告となっております。

今回の関西部会の開催を通じまして本学会の発展に少しでも貢献できますことを願っております。ご多用の時期とは存じますが、多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

2019年3月吉日

日本簿記学会第35回関西部会準備委員会
委員長 兵頭和花子
委員 高須 教夫
林 昌彦
辻川 尚起

大会プログラム

5月25日（土）	
10：30～11：30	学会賞審査委員会 教育棟 I -309
11：30～12：30	理事会 教育棟 I -310
12：00～16：00	参加者受付 教育棟 II 2F
12：00～16：00	会員控室 教育棟 II -202
13：00～14：40	統一論題報告 教育棟 II -201 テーマ「近代化と西洋式簿記の伝播」
13：00～13：10	工藤 栄一郎氏（西南学院大学） 座長解題
13：10～13：40	第1報告 松田 有加里氏（高松大学） 「江戸時代後期の商家における帳合法に関する研究－近江商人中井家の「店卸目録」の分析から－」
13：40～14：10	第2報告 矢野 沙織氏（西日本短期大学） 「文部省刊行教科書による西洋簿記の導入と意義」
14：10～14：40	第3報告 島本 克彦氏（大和大学） 「日本式収支簿記について」
休 憩 14:40 ～ 15:00	

15：00～15：30 自由論題報告 教育棟 II -201
司会：三光寺 由実子氏（和歌山大学）
笹田 博氏（佛教大学大学院）
「近松のなぞ－大石の「預置候金銀請拂帳」について－」
15：30～16：00
司会：高須 教夫氏（兵庫県立大学）
首藤 洋志氏（名古屋大学大学院）
「資産負債観に基づく歴史的原価会計－収益認識会計基準を手がかりにして－」

休 憩 16：00～16：20

16：20～17：40 統一論題討論 教育棟 II -201
座 長：工藤 栄一郎氏（西南学院大学）
討論者：松田 有加里氏（高松大学）
矢野 沙織氏（西日本短期大学）
島本 克彦氏（大和大学）

18：00～19：30
懇親会 大学会館（生協・食堂）

《CPE 単位認定のご案内》

本部会の報告は、CPE 認定研修として承認されており、以下の通り CPE の単位が認定されます。

【研修コード：2001】

- 統一論題報告：2単位
- 自由論題報告：1単位
- 統一論題討論：1単位